

9月は世界アルツハイマー月間

認知症について 理解を深めましょう!

高齢者・福祉のページ



まめなかな

問合せ 高年介護課 ☎ 57-5200

高齢者・福祉

認知症は特別なことではなく、年齢が高くなるにつれて発症する人が増えてきます。

市内の令和2年度に介護保険を初めて申請した人の主な原因疾患は、認知症が16・6%と最も多いです。また、要介護・要支援の認定を受けている人のうち、64%の人に認知症状がみられます。

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らせるように、次の①～④を実践しましょう!



① 認知症を正しく理解

認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなり日常生活に支障をきたしている状態です。主な症状には、記憶力や判断力、意欲の低下があり、65歳未満で発症する認知症を若年性認知症と言います。

② 早期発見・早期受診

早期から治療や症状に合った対応をすることで、進行が緩やかになり、認知症状が穏やかになります。また、認知症以外の病気の場合もあるので、おかしいなと思ったら、かかりつけ医に相談しましょう。

③ 認知症の人のサポート・見守り

認知症の人は、不安を感じながら生活しています。周りの人が温かく見守りや声かけをすることで、安心して地域で暮らすことができます。困っている認知症の人を見かけたら「何かお困りですか?」と優しい声かけとサポートをお願いします。

④ 認知症を予防

認知症は長い時間をかけて脳の中に老廃物がたまり、神経細胞が壊れることで発症します。糖尿病や高血圧などの生活習慣病は、血管に負担がかかり認知症の発症リスクが高くなるので、生活習慣病の予防・治療をしましょう。



▶市図書館「煥章館」で認知症に関する展示を開催中(9月下旬まで)

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る人です。受講者には認知症サポーターの証のオレンジリングをお渡しします。



日時 9月28日(火)午後1時30分～3時
場所 市図書館「煥章館」(馬場町2)
定員 30人(超えた場合は抽選・医療・介護専門職の方はご遠慮ください)
申込み 9月22日(水)までにTEL
問合せ 地域包括支援センター
☎ 55-2940

9月21日世界アルツハイマーデー講演会
「地域でつながる・支える・見守る認知症」
日時 9月21日(火)午後2時～3時30分
講師 須田病院認知症疾患医療センター
センター長 垣内無一さん
場所 市図書館「煥章館」(馬場町2)
定員 30人(超えた場合は抽選・医療・介護専門職の方はご遠慮ください)
申込み 9月15日(水)までにTEL
問合せ 高年介護課 ☎ 57-5200

